

**学校法人 明倫学園**  
**平成 30 年度 事業計画**

**1. 教育改革**

**(1) 教科目の質の向上**

**歯科技工士学科（中期経営計画実施管理表 No. 1-1-a-1）**

- ・ 歯科技工士養成学校指定規則の改正等に則した新教育課程（平成31年度実施）を申請する。
- ・ 国家試験出題基準に即した教育内容を整理する。

**歯科衛生士学科（1-1-b-1）**

- ・ 平成 29 年度からの新教育カリキュラム・シラバスに基づく教育を確実に実行し、学修成果の達成度について検証する。
- ・ 新たに策定されたカリキュラムマップとディプロマポリシーの整合性を追跡する。

**(2) 教科目の高度化**

- ・ ICT 等を用いた主体的・対話的学びの視点からの学習・指導方法を実践する。
- ・ 学生の理解度と実習状況を学習目標に照らして検証し、学修成果の可視化と改善・充実のカリキュラム・マネジメントを実現する。

**(3) 研究活動・教員の資質向上**

- ・ 多様な学生に対応できる教員の教育力・指導力の向上を図る。
- ・ 学位や資格等の取得を目指す。
- ・ 積極的に学会及び研修会に参加し、自らの研究を発表・論文化する。

**(4) 実習指導について**

**歯科技工士学科（1-1-a-2）**

- ・ 学修成果を把握できるように単位数の多い実習科目を細分化する。

**歯科衛生士学科（1-1-b-2）**

- ・ 臨地・臨床実習先及び実習委託施設側との連携体制を見直し、実習を充実させる。
- ・ 臨地・臨床実習に適応しにくい学生を減らす。
- ・ 歯科訪問診療に必要な知識と技術の修得と多職種連携を図る。
- ・ 最先端器機を用いた教育プログラムを導入し、各実習で活用する。

**(5) 国家試験について**

- ・ 国家試験 100%合格を目指す。
- ・ 国家試験出題基準に則した教授内容の再点検と科目担当教員間の連携を強化する。
- ・ 全学年を通して、学力別クラス編成による国家試験対策を早期に実施する。
- ・ 実技試験（歯科技工士国家試験）対策について、学生各自の達成度を実技評価基準に基づいて効果的に指導する方法を確立する。

**(6) 専攻科教育の充実について**

**共通**

- ・ 学修成果レポートの作成・提出・試験に対応した教育プログラムを作成し、指導体制を充実させる。
- ・ 専門領域での指導的役割を發揮できる能力を涵養する。

**歯科技工士学科専攻科生体技工専攻（1-1-c）**

- ・ 臨床実習受け入れ先である附属歯科診療所と歯科技工室との連携体制を強化し、チーム医療の実践能力を高める。
- ・ ポートフォリオを活用し、学生が自己の目標を達成できるよう指導する。
- ・ 歯科医療のデジタル化に対応するべくデジタル歯科技工の学習を充実させる。

**歯科衛生士学科専攻科口腔保健衛生学専攻（1-1-d）**

- ・ 歯科保健指導、歯科予防処置を中心とした歯科衛生士の専門的実践能力を高める。

### (7) 学生支援 (1-2)

- ・ 電子カルテシステムの積極的活用のため、学生会・課外活動情報の各学年の入力情報を積み上げる。
- ・ 三者面談等で得られた学生情報を全教員間で共有し、休退学の防止に生かす。
- ・ 学生の孤立防止対策として「めいりんフレンドリールーム」等を活用する。
- ・ 修学特別支援申出書等により、様々な事情を抱えている学生に対し、教職員及び保護者と連携して円滑な修学支援を図る。
- ・ 行事や課外活動等の在り方を見直し、学生の自主性を高める。
- ・ 求人情報及び就職先事業者情報をデータベース化し、キャリア支援の充実を図る。

### (8) IR (1-3)

- ・ IR協定による学生アンケートを継続し、IRに関するFSDを実施する。
- ・ IRアンケートの分析による本学の教育上の問題点を抽出し、対策案をとりまとめる。
- ・ 協定校との情報交換を促進させる。

## 2. 学生募集

### (1) 外部団体との協働による認知度向上と学生募集 (2-1)

- ・ 参加者数の増加および受験率の向上に繋げる。
- ・ 統一的なイメージ、デザイン、メッセージを制作・発信し、訴求性を高める。
- ・ 高校教員対象のオープンキャンパスの企画等、高大接続を推進する。
- ・ 高校生への職業周知を図り歯科衛生士・歯科技工士への志願者増を図る。
- ・ 新潟県内高校3年生に対する職業および大学の認知を強化する。
- ・ 高等教育コンソーシアムにいがたと連携し、本学および職業の認知度を高める。

### (2) 校友会との連携強化による学生の確保 (2-2)

- ・ 校友会との交流機会（ホームカミングデイ）の内容を充実させ、卒業生との連携を強化する。
- ・ 各支部会および地域で活躍している校友会員との交流・情報共有を深め、学生募集協力への働きかけを強化する。

### (3) 社会全体における本学の認知度向上 (2-3)

- ・ 地域における本学の認知度を高める。
- ・ SNS・ウェブサイトの魅力アップを図る。
- ・ 新潟県歯科医師会、新潟県歯科衛生士会および新潟県歯科技工士会と連携を図り、地域歯科イベントへの参加から職業および大学認知を広げる。

### (4) パーソナル・マーケティングによる社会人・県外入学者の獲得 (2-4)

- ・ 入学生のヒヤリング調査から本学入学プロセスの詳細なデータを収集・分析し、学生募集に繋げる。

## 3. 附属事業の活性化

### (1) 明倫短期大学附属歯科診療所 (3-1)

- ・ 訪問歯科診療や予防歯科といった本学診療所の特色を明確化し、地域のニーズに応える歯科診療所を目指し患者数を増やす。
- ・ ICTを活用した次世代型医療システムの構築に業務の効率化と医療サービス向上を推進する。
- ・ 臨床実習施設としての機能を強化する。
- ・ 本学教職員および歯友会連合事業団の職員の歯周病予防と口臭予防を強化する。

### (2) 明倫短期大学附属図書館 (3-2)

- ・ 選書・配架方法を工夫し、教職員の積極的な利用を促す。
- ・ 学生の学習の場としての利用を増やす工夫をする。
- ・ 利用者の所属別の属性、時期、図書の種類などを分析し、利用増進のための企画立案を行う。

### (3) 国際技術交流会館 (3-3)

- ・ 寮行事や学習支援ルームの設置等を企画し、学科・学年を超えた寮生間の交流を促進し、人格の陶冶に努める。
- ・ 寮利用についての手続や告知方法を見直し、学生寮の魅力を発信するため広報と連携することで利用率を高める。

### (4) 歯友会居宅介護支援センター (3-4)

- ・ 附属歯科診療所との連携により口腔に特化した介護支援センターを目指し、サービスの質の向上を図る。

- ・ 本学の教育に貢献する。
4. **人事政策**
    - ・ 職員を含めた評価制度を導入する他、就業規則等関係規程の見直し、就業環境の改善を推進する他、給与制度の改革に着手する。
  5. **経費節減計画**
    - ・ ICT 機器の利用を推進し、コピーの使用量を削減する。
  6. **施設設備計画**
    - ・ 老朽化による施設設備の突発的な修繕について、緊急性の高いものから優先的に対処する。
  7. **外部資金の獲得・寄付金募集計画**
    - ・ 採択性の補助金に全教職員一丸で取組み、外部資金を獲得する。
    - ・ 寄付金募集について、さらに関係者への周知を図り活発化する。
  8. **借入金等の返済計画**
    - ・ 遅滞なく計画どおり返済する。
  9. **組織運営体制と情報公開体制**
    - ・ 中期経営計画を見直し、実現可能性のある経営改善計画を策定する。
  10. **その他**
    - ・ 自治体、地域の開業診療所や歯科技工所等、関係団体との包括連携を進める。

以上